

平成22年度

— 第16回（定例・臨時） —

教育委員会会議録

| | | | | | | |
|-------|----------------------|----|-------|----|------|---|
| 開 会 | 平成23年 1月20日 | 午前 | 2時02分 | 午後 | | |
| 閉 会 | 平成23年 1月20日 | 午前 | 2時40分 | 午後 | | |
| 会議場所 | 教育委員室 | | | | | |
| 委員出欠 | 濱上和康 | 出 | 平田静太郎 | 出 | 藤岡庄司 | 出 |
| | 松村佳子 | 出 | 花山院弘匡 | 欠 | 富岡将人 | 出 |
| 議事録署名 | 教 育 委 員 長 | | | | | |
| 委 員 | 教育委員長職務代理者 | | | | | |
| 書 記 | 奈良県教育委員会事務局 企画管理室 | | | | | |

| 議案及び議事内容 | 結果 |
|---|---------------------|
| <p>次 第</p> <p>報告事項 1 陳述書の提出について</p> <p>報告事項 2 「平成 2 2 年度幼児の運動能力・生活習慣等調査」について</p> | <p>承認</p> <p>承認</p> |
| <p>報告事項 1 陳述書の提出について</p> <p>○委員長 「報告事項 1 について説明願います。」</p> <p>○教育長 「現在、奈良地方裁判所で係争中の委員月額報酬の公金支出差止め請求事件において、県側の弁護士から該当委員会への陳述書作成及び奈良地方裁判所への提出依頼がありました。陳述書の概要については、教育次長より説明しますが、陳述書の詳細内容については、県側の弁護士と協議のうえ提出したいと考えています。提出にあたっては委員長と相談のうえ行いたいと思いますので、委員長に一任いただきますようお願いいたします。」</p> <p>○教育次長 ・ ・ ・ 資料に基づき説明 ・ ・ ・</p> <p>○委員長 「ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。」</p> <p>○委員長 「ご意見がないようですので、奈良地方裁判所への陳述書の提出及びその概要については、各委員ご承認いただき、詳細内容については私に一任としてよろしいか。」</p> <p>※各委員一致で承認</p> | |
| <p>報告事項 2 「平成 2 2 年度幼児の運動能力・生活習慣等調査」について</p> <p>○委員長 「報告事項 2 について説明願います。」</p> <p>○教育長 「これまでの調査で奈良県の小・中学校の子どもたちは、体力に課題があるという結果が出ています。その原因は幼児期からあるのではないかと、県内 2 9 の幼稚園・保育所の 5 歳児とその保護者、担任を対象に幼児の運動能力・生活習慣等調査を実施し、調査報告書としてまとめました。また、その結果をもとにリーフレット「からだづくりは幼児期か</p> | |

| 議 案 及 び 議 事 内 容 | 結 果 |
|---|-----|
| ら」を作成いたします。詳細につきまして、教育研究所家庭・幼児教育部長よりご説明いたします。」 | |
| ○教育研究所部長・・・資料に基づき説明・・・ | |
| ○委員長 「ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。」 | |
| ○藤岡委員 「食事との関係をなぜ朝食ではなく昼食とするのか。確かに結果はわかりやすいデータが出ている。今後は運動能力測定実施時間帯を注意して実施していただきたい。」 | |
| ○教育研究所部長「朝食については、食事を取った時刻と運動能力の関係を問う調査であった。これからも継続して測定が出来るよう準備している。」 | |
| ○藤岡委員 「朝食を取っている子どもと、そうでない子どもの運動能力はどうか。」 | |
| ○教育研究所部長「報告書の26ページにあるように、取っている子どもと、取っていない子どもとの差は出ている。」 | |
| ○平田委員 「測定は午前中の実施なのか。」 | |
| ○教育研究所部長「午前中に実施している。」 | |
| ○松村委員 「小・中学校の体力・運動能力調査があったが、調査した時刻は午前か午後か不明。また、真面目に参加していない子どもがいるとも聞いている。朝食を取っていなければ午前中の測定値に影響が出る。いろいろな要因がある。朝食を取っているのか、取っていないのか。午前か午後かで異なってくる。正確な値を目指すのであればその辺の対策があると思う。」 | |
| ○理 事 「確かに難しい問題である。学力でも同様である。子どもの測定は完璧でない。測定条件をどう揃えていくのかも問題である。これまでに測定に取り組んだことのある園は測定値が高い。おそらく、体力向上への取組意識や測定について理解度が高いということがあるのであろう。先生方の意識も必要である。」 | |

| 議案及び議事内容 | 結果 |
|--|----|
| ○平田委員 「測定値を高くしようとするテクニックもあるが、それで果たしているのかという議論もある。」 | |
| ○濱上委員 「朝食と学力についてみると、朝食を採る児童・生徒は学力が高いという結果が出ている。テクニックに走るのもどうかとも思う。いろいろな関係を注視しながら調査してほしい。」 | |
| ○教育長 「この調査で、傾向値として大きく変わらない結果が出たと考えられる。5歳の時点で差がついている。家庭、地域にも原因があるのではないかと。学校、家庭、地域が何らかの協働していかないといけない事がわかった調査である。来年度の予算要求はこれを踏まえて行ってほしい。新たな事業展開を頑張っていきたい。」 | |
| ○平田委員 「奈良県の学校の立地条件が良すぎることもあるのではないかと。通学で歩く距離が短い。」 | |
| ○教育長 「正確なデータはないが、山間部で小学校再編で統合された学校で、通学にバスが使われるようになる等々で、歩かなくなり体力が落ちていくという話を聞く。」 | |
| ○松村委員 「県下のある村で聞いた話では、バスが来るので放課後にゆっくり遊べないようだ。山間部の子どもは運動しているようだが、運動する時間が短いように思う。」 | |
| ○平田委員 「そのような状況の中、児童が身体を動かすことをいかに奨励するかということになる。やはり毎日の積み重ねが大きいと思う。」 | |
| ○保健体育課長「子どもを取り巻く環境の変化に伴い、運動する機会が減少している。それをどう増やすか。どのような活動を通じて楽しませるか。学校外で運動する機会をどう生み出していくか。案として広く小学生を対象としたスポーツ教室や陸上や水泳の記録会への参加を通して、体力向上を目指したい。また単にその大会への参加だけでなく、それらの大会に向けた取組を地域や学校で行っていきたいと思っている。」 | |

| 議 案 及 び 議 事 内 容 | 結 果 |
|--|-----|
| ○濱上委員 「このような問題は、県民ひとりひとりが取り組んでいかなければい けない。」 | |
| ○委員長 「この件について原案どおり承認してよろしいか。」 ※各委員一致で承認 | |